


半年間**Janog**に
Contributeしてみる



自己紹介

名前：林良輝

就職先：株式会社 BroadBandTower

趣味：ジム (ベンチプレス) 、ゲーム (Apex , LOL)

やってること：Janog53 PCスタッフ, ネット研部長 , DCネットワークの勉強

やりたいこと：Apex プレデターを目指す , 足トレ ,

興味があること：Public AS 運用 , ROVの導入とROAの体験 , 足トレ

最近埼玉新居構えました

sha-maisonでかもられました



アジェンダ

- 結論
- Contribute
- まとめ
- 課題と聞きたい部分

コミュカが
重要だった

Janogでの学び

Janogとは

「JApan Network Operators' Group」の略。日本語名称「日本ネットワーク・オペレーターズ・グループ」。インターネットにおける技術的事項、および、それにまつわるオペレーションに関する事項を議論、検討、紹介することにより日本のインターネット技術者、および、利用者に貢献することを目的としたグループです。これらの目的に賛同すれば誰でも議論に参加することができますが、明らかな営業活動を目的とした参加は認められていません。



- Janog 52 若者支援
- Naniwa NOG 若者支援
- Janog 53 PCスタッフ

Janog 参加経緯

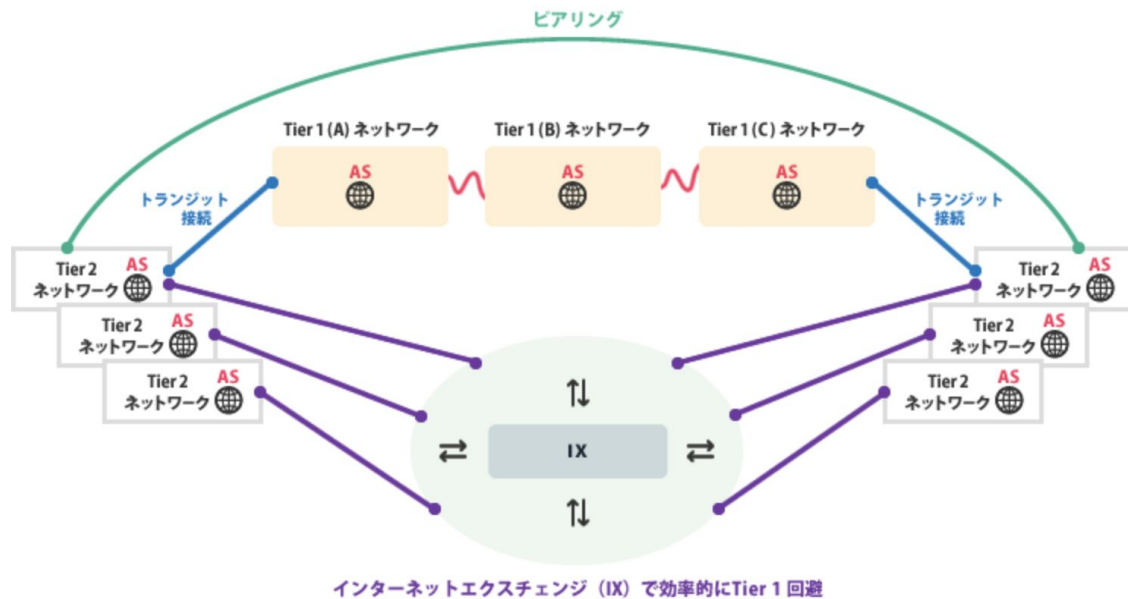
- eBPF / XDP が気になっていた
- 単純に卒業まえに行きたかった
- 自分の会社の業界立ち位置をしたかった
- 周りと違うことがしたかった

Contributeの動機 1 Janog 52衝撃的なmeeting

- 博多DCIサービスの実施によって、九州のインターネットはどう変わるのか？
- 東日本エリアのネットワーク強靱化、転送効率化について議論しよう Season2 ～東北・北海道エリアにおけるインターネット通信の継続性向上、効率的な転送を実現するためのeXchange方法について～

Contributeの動機 2 Commutiy の面白さ

隣人に対する、敬意とリスペクトを欠かさない



Contribute の心構え

- 常に学生目線からの意見
- 視野の狭さや広さに関係なく意見をいう
- 学生という立場を最大限使う努力
 - 若者支援 などの応募
 - 自分から学ぶ、姿勢
- 受ける支援に感謝を忘れない

Contribute 1 PCスタッフ

Program 委員

- プログラム策定委員の若者進出
 - 自分なりの視点で、若者向けプログラムの選考
- 最強プログラム作成と発信
 - 最強の人になる予定ではあった。。。

懸念事項だった

- 技術的に全然ついていけない、聞いてるだけどほんとに呪文
- 知識の有無にかかわらず、自分から社会人の方々に発信する勇気がねえ

実際,ついていけてません、発信はできました

Contribute 2 Community 活動

Janog Slackなどで議論と懇親会に参加

- Slackなどでは真面目に議論
- 懇親会は思い切り楽しむ
 - プライベートでもいつも技術の話をしてる
- 次回の目標は登壇

懸念事項だった

- 技術的に全然ついていけない、聞いているだけどもほんとに呪文
- 思ったより飲み会

実際,ついていけてません、飲み会にはついていけました

Contributeしてわかったこと (箇条書き)

1. Cloudはレン鯖と変わんないし、物理サーバ借りてるのと変わらない
 - a. 多少レイヤが高いだけなのではと思ってきている (偏見)
2. 日本のインフラは二極化している (大阪・東京) ため、二極化は防ぎたいらしい
3. 自己紹介の際は AS 番号をいうべし
4. 若年者の育成を業界全体で行っている
5. 不思議だが、人との繋がりをネットワークを通して実感できる
6. 地理と密接に関係しているため、地方ISP / IX それぞれの特色がある

Contoribute して 得られた経験

- コミュニケーション力次第で世界が広がる感覚がある
- 世代を超えたコミュニケーションが必要なので、自分が Contoribute することで代々繋がりがり作っていける気がする



まとめ

黎明期に入った現在のインターネットでは若者がインフラをいじることができないため

自分たちで、学びにくる姿勢が求められている気がする

Scrap & Buildできない既存インフラになってしまった、なので、
できた時代の話と将来的な話を話す場がJanogであると思った

今後の目標と、方針

1. 先輩、後輩、OB、関わってくれている社会人の方々との繋がりを大事にしていきたい、
2. DoorNOCさんとのPeeringを短期目標に設定
3. Wakamonog or 次回NaniwaNogでの現役学生 or コミュニティからの登壇
4. 次世代にネットワーク研究会を託すものになりつつあるので、残せるものを増やしたい

ご静聴
ありがとうございました